

授業科目名	ジャズハーモニーVI	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

ジャズハーモニー（I～V）で学んだことを確実なものにしつつ、追加、補足事項も踏まえて、各自の専門楽器にて実践に結びつけられるようにする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

ジャズ・ポピュラーコースの学生（3年生）はジャズハーモニー（I～V）を修得していること。  
ジャズ・ポピュラーコースの学生でない場合は相応の内容を理解していること。

### ＝授業の概要＝

おそらくジャズのハーモニー、リズム、アーティキュレーションは現代音楽の中で最も多彩かつ複雑です。その構造、仕組みをハーモニー面からを中心として学んで行きます。  
題材として様々な曲を用いて、アレンジ、リハーモナイズを参考に  
してハーモニーの可能性を探る。強いてはより良いサウンドを見つけ、  
総合的に音楽を捉えることが出来る力を身につけます。

### ＝授業計画＝

- 1回 スケールの理論 1
- 2回 スケールの理論 2
- 3回 スケールの理論 3
- 4回 ペンタトニックスケール1
- 5回 ペンタトニックスケール2
- 6回 アッパーストラクチャー1
- 7回 アッパーストラクチャー2
- 8回 基本的なリハーモナイゼーション1
- 9回 基本的なリハーモナイゼーション2
- 10回 基本的なリハーモナイゼーション3
- 11回 高度なリハーモナイゼーション1
- 12回 高度なリハーモナイゼーション2
- 13回 高度なリハーモナイゼーション3
- 14回 高度なリハーモナイゼーション4
- 15回 まとめ

### ＝テキスト（必携）＝

## **=参考書・参考資料（必携）=**

（ジャズセオリー ATN 出版）（ジャズピアノブック ATN 出版）などを用いて進めていきます。  
その都度伝えます。

## **=成績評価の方法と評価の基準=**

レポート提出、小テストおよび出席数（率）で評価します。  
出席、テスト点数、授業内での理解度に問題が無ければAを。以下、それに応じてB～。

## **=その他=**